

看護部の取組み
～あれ&これ～ご紹介 Vol.24
清掃ボランティア始めました！

医療福祉連携室だより
令和5年度
後期地域リハビリテーションセミナーの
お知らせ

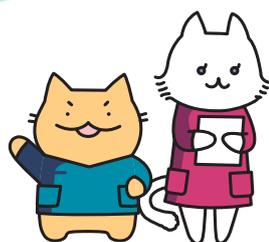
チョットReha 第40回
臨床研究の報告
当院における退院支援の傾向と
MSWの役割について

新入職員紹介

新型コロナウイルス感染症拡大防止事業に
おける感謝状贈呈について

運営理念

リハビリテーションを通して患者さんが生きる喜びと希望を抱き、充実した人生をおくられるよう、医の原点に立った心温まる医療を提供し、福祉・介護との連携推進をはかる。



看護部の取組み

清掃ボランティア始めました！

きっかけは看護部長の一声

職員のみなさんは、病院までどのような方法で通勤していますか？私は電車通勤で鐘ヶ淵駅より徒歩で病院に來ています。通勤時、病院近くの高架下を歩いていると、ゴミや鳥の糞、枯れ葉の山が行く手を阻み、少し憂鬱な気分です仕事に向かっていました。しかし、公道を掃除する人がいないからしょうがないとずっと諦めモードでいました。ところがある日の師長会で、看護部長が「病院前の道路が汚いから、清掃ボランティアやらない？」と提案！！「そうだ、その手があったかと、他人任せではなく、自分たちでやるのだ」と師長会のメンバーも全員賛成し清掃ボランティアチームが誕生いたしました。

記念すべき第1回目は7月26日でした。毎日清掃したい気持ちはやまやまですが、継続していくことが大事ですので、毎週水曜日を定例とし、7：40～8：10までの30分間作業することに決めました。

清掃開始！

清掃スタイルは女子はピンクの術衣に長靴、男子はブルーの術衣、そして首にはタオル、手には手袋、頭にはディスプレイキャップに二重のマスクといったニューファッション！よく見ないと誰が誰だかわからない状態です。

スタイルはバッチリ？決めましたが清掃素人チームですので、当院の建物管理を委託している株式会社オーエ

ンスのプロの先輩清掃員に知恵と道具を拝借し、手ほどきまで受けながら作業を開始しました。まず初回は竹ぼうきで長年蓄積された泥やゴミ、鳥の糞、落ち葉を除去しました。今まで竹ぼうきを使用しているのを見て、何であんなレトロな物を使ってるんだろうと思っていましたが、掻き出す威力は抜群で、それだけで見違えるくらい綺麗になりました。

次は水撒き。ホースが届かず汗を滴らせながら、何度もバケツで水運び。そしてブラッシング。鳥の糞や、ガムの捨てた後などを入念にブラシでこすり取りました。

ここまでやると、今まで気になっていた鳥の糞が随分目立たなくなってきました。

メンバー募集中です

毎回終わるたびに次回の作戦会議を開き、回を重ねるたびに要領よくなってきたと自画自賛しています。

一週間たつとまた汚くなっていますが、少しずつきれいになってきている道路を見るとうれしくなれます。

ボランティア活動は看護部のメンバーだけでなく、院長、事務長（飲料水の差し入れ、励ましの声等）、四戸事務次長、中島用度係長、清掃の古川さん、相田さん、秋元さんにも参加して頂いています。職員のみなさんも何か楽しそう、やってみたいと思われる方は是非看護部までご一報下さい。

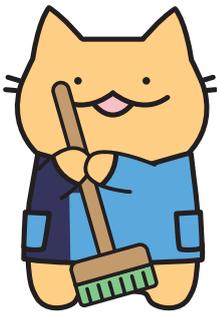
看護部 看護科長 五十嵐美千代

～あれ&これ～ご紹介

Vol.24



新井院長も参加！



デッキブラシで入念にごしごし

医療福祉

📧 令和5年度 後期地域リハビリテーションセミナーのお知らせ

2016年度より開催しております「地域リハビリテーションセミナー」も令和5年度前期までで86回の開催となりました。

令和5年度の後期（9月～令和6年3月）からは、協力施設（山田記念病院・森山記念病院・寿康会病院）の三病院と検討しながら計画を立てております。

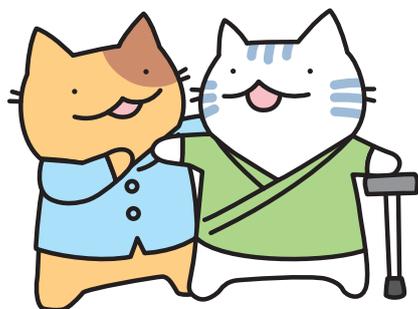
また、令和4年度まではZoomを利用して研修会を実施してまいりましたが、**多職種とface to faceで連携を深めていくことも、地域リハビリテーションの推進には大切なことであると考え、令和5年度からは区の会議室を利用して会場での開催を中心に実施しております。**

日時や開催場所が未定なものもありますが、後期の地域リハビリテーションセミナーも多彩な研修会を予定しております。医療介護福祉専門職の皆様には、積極的にご参加いただけますと幸いです。

この地域リハビリテーションセミナーは区東部地域リハ支援センターのホームページ（https://www.tokyo-reha.jp/shien_center/）にて、随時情報が更新されており、申し込みを行うことも出来ます。

多くの方々にご参加いただきたいと考えております。是非とも上記ホームページにアクセスください。よろしくお願いたします。

地域リハビリテーション推進科 齋藤正洋

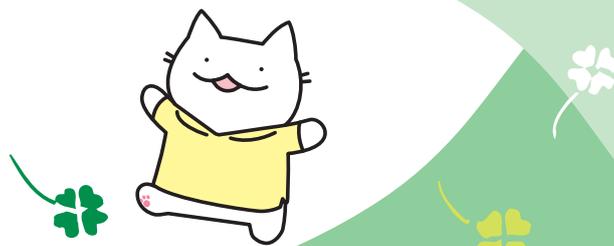


東京都リハビリテーション病院は、東京都より指定を受けている12の支援センターの1つです。

地域リハビリテーション支援センターについて
(東京都保健医療局ホームページ)



連携室だより

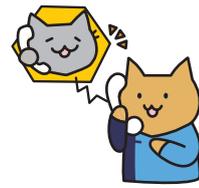


令和5年度 区東部地域リハビリテーション支援センター 後期 地域リハビリテーションセミナー 予定

第8回 (通算87回)	令和5年9月4日(月) 会場：Zoomによるオンライン開催 (定員：50名)	テーマ：「慢性疼痛に対する知識とアプローチ」 講師：兵庫医療大学リハビリテーション学部 作業療法学科 田中 陽一 氏
第9回 (通算88回)	令和5年10月13日(金) 会場：すみだ産業会館 (定員：50名)	テーマ：「介護者の負担をどう考え、どう軽減するべきか」 講師：医療法人財団正明会 山田記念病院 作業療法科 浅川 淳 氏
第10回 (通算89回)	令和5年10月25日(水) 会場：江東区産業会館 (定員：50名)	テーマ：高次脳機能障害当事者と語ろう 「役割を取り戻すまで…エンパワメントの重要性」 講師：医療法人財団寿康会 寿康会病院 言語聴覚士 日比野 理恵 氏
第11回 (通算90回)	令和5年11月 会場：未定 (定員：50名)	テーマ：「仮）地域連携と情報共有の仕方」 パネリスト：予定施設 山田記念病院・森山記念病院・ 東京都リハビリテーション病院
第12回 (通算91回)	令和5年11月 会場：未定 (定員：50名)	テーマ：「仮）セルフマネジメント・自主トレの定着について」 講師：未定
第13回 (通算92回)	令和5年12月 会場：未定 (定員：50名)	テーマ：「仮）心不全のリハビリテーション」 講師：未定
第14回 (通算93回)	令和6年1月 会場：未定 (定員：50名)	テーマ：「仮）ACPIについて」 講師：東京都リハビリテーション病院 医療福祉連携室室長 堀田 富士子 氏



臨床研究の報告 当院における退院支援の 傾向とMSWの役割について



医療福祉連携室 相談科 医療ソーシャルワーカー 土岐 美沙希

研究をはじめたきっかけ

2000年4月に診療報酬における病院機能に回復期リハビリテーション病棟が新設され、今日までに入退院に係わる様々な仕組みが再編されてきました。その中で回復期リハビリテーション病棟をもつ医療機関においては限られた入院期間の中で患者さん、ご家族の双方納得の上、退院・転院先の選択をしてもらえるよう、意志決定の支援がこれまで以上に重要となっています。

当院では入院患者さんに対して、医療ソーシャルワーカー（以下MSW）が介護保険の申請や利用の相談、住居探し、就労に関する相談など個々の事情に合わせ、様々な支援を行っています。近年少子高齢化や核家族の増加に伴い複雑化・複合化した課題に対して支援を行う機会も増えていると感じています。

このような背景から、当院における退院支援の傾向とMSWの役割について明らかにし、今後のMSW業務に活かしていきたいと考えたため、臨床研究に取り組みました。

方法

経験年数5-7年目のMSW3名が1年間担当した患者さん計221名を調査対象としました。患者さんに行った支

援の内容を「東京都医療社会事業年報」から引用した12項目に分類し、項目ごとに集計を行いました。

結果・考察

患者さんの内訳は男性140名、女性81名、平均年齢は68歳でした。MSWが1人の患者さんと面談を行った平均回数は4回、電話の平均回数は10回、合計で平均介入回数は14回であることがわかりました。また、12項目ごとに分類した支援項目を「平均回数14回以上」と「14回以下」に分類し、それぞれの項目に特徴がでるか比較を行いました。結果、14回以上では「意志決定支援」「制度利用支援」「金銭課題」「住まい課題」「医療について」「入退院支援」の12項目中6項目に対してより支援を行っており、当院における退院支援の1つの傾向として捉えることができたと考えます。

今回の結果をふまえ、入院早期の段階から患者さん、ご家族の困り事に対して関わりを持つことができる仕組み作りについて検討していくことが今後の課題となりました。また、入院中に解決できない課題については地域の支援機関との丁寧な連携を行い、環境作りをサポートしていきたいと改めて感じました。

「医療社会事業実績調査における業務分類」に基づき作成した12分野の支援項目

意思決定支援	制度利用支援	物品調整	金銭課題	住まい課題	就労支援
<ul style="list-style-type: none"> ・病状説明同席やその後の面談 ・意向の聞き取り／摺り合わせ ・退院先の相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険申請 ・ケアマネ選定 ・障害者手帳申請 ・ケアマネと連携 ・退院時書類確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護申請 ・生活保護担当者と連携 ・住宅ローン相談 ・入院費相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・住所不定相談 ・転居相談 ・住宅改修調整 ・家屋調査調整 ・施設入所支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・復職／就職支援 ・職場と連携 ・通勤方法の検討
教育課題	権利擁護	心理的支援	障害について	医療について	入退院支援
<ul style="list-style-type: none"> ・復学・転学支援 ・訪問学級調整 ・通学方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度申請 ・金銭管理サービスの検討・調整 ・虐待ケースの対応 ・金銭管理の相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・退院に向けた不安の聞き取り 	<ul style="list-style-type: none"> ・後遺症に伴う相談・資源調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患や認知症に伴う相談・資源調整 ・感染症の対応 ・医療行為に伴う相談・資源調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・受診調整 ・退院時移動手段の調整 ・書類の調整



当院を退院後、訪問リハビリテーションを継続されている鳩貝 杏様に表紙画を提供していただきました。

鳩貝様コメント

赤、青、黄の三原色のみを使用し、自分で色を混ぜながら調整し描きました。

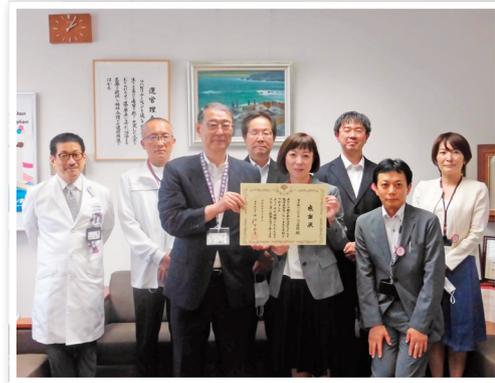
新型コロナウイルス感染症拡大防止事業における 感謝状贈呈について

昨年5月に新型コロナウイルス感染症拡大防止事業として、東京都が開設した臨時の高齢者等医療支援型施設に当院の理学療法士2名を派遣し、陽性者のリハビリに

従事したことに対し、7月12日、成田友代保健医療局技監より新井院長に感謝状が贈呈されました。

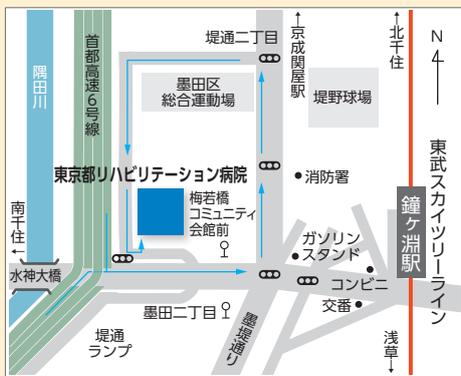


贈呈の様子



記念撮影

交通案内



(車利用の場合)

- JR山手線
- JR総武線快速
- JR中央線・総武線各駅停車
- JR中央線快速
- 東京メトロ千代田線
- 東京メトロ半蔵門線
- 東武スカイツリーライン
- 東武亀戸線
- 京成本線



南千住	都営バス	10分	梅田区総合運動場 二丁目バス停留所	徒歩	2分
錦糸町	都営バス	25分	墨田二丁目	徒歩	4分
浅草	東武スカイツリーライン	10分	鐘ヶ淵	徒歩	7分
亀戸	東武亀戸線	20分	鐘ヶ淵	徒歩	7分
北千住	東武スカイツリーライン	5分	鐘ヶ淵	徒歩	7分
京成上野駅	京成本線	12分	京成関屋駅	徒歩	15分

東京都リハビリテーション病院

*東京都リハビリテーション病院は、東京都が設置し、公益社団法人 東京都医師会が指定管理者として運営を行っている病院です。

東京都リハビリテーション病院



2023年10月1日(日)発行

東京都リハビリテーション病院 広報委員会

〒131-0034 東京都墨田区堤通2-14-1
TEL : 03-3616-8600 FAX : 03-3616-8705
<https://www.tokyo-reha.jp/>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

編集
後記

今年の夏は猛暑日が続き、42号を編集集中の現在も残暑が続いております。この号が発行される10月にはさすがに涼しくなっていることを願いつつ、空を見上げればほんの1週間くらい前まではもくもくと立ち上っていた入道雲は晴りを潜めており、空の色だけは秋に近づいているようです。